

ポーラ、ジェンダー平等教育をサポート 冊子『10代のためのジェンダーの授業』を作成 「おしごと年鑑」に同梱し全国の小中学校約3万校に寄贈

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：及川美紀）は、朝日新聞社とともに、『10代のためのジェンダーの授業』という冊子を作成しました。この冊子は朝日新聞がキャリア教育支援のために主催しているプロジェクト「おしごととはくぶつかん」が毎年発行している教材「おしごと年鑑」に同梱され、本年6月より全国の小中学校約3万校に寄贈します。

朝日新聞社「おしごととはくぶつかん」<https://oshihaku.jp/about-media/>

◆『10代のためのジェンダーの授業』冊子作成の目的

2021年発表のジェンダーギャップ指数によると、日本のスコアは156か国中120位、G7では例年最下位が続いており、特に政治・経済分野のギャップが低位に位置しています。その背景のひとつに、子どもの頃から「おとこらしさ」「おんならしさ」について周囲から見聞きすることで、刷り込みのように価値観が作られる側面があります。小中学生が、ジェンダーに関してこれまでの「当たり前」「慣習」「思い込み」があることや、どんな課題があるのかを知ることが、ジェンダーギャップを解消する第一歩となると考え、冊子作成に至りました。作成にあたり、国連開発計画などでジェンダー平等と女性のエンパワーメントの推進に携わってきた斎藤万里子様に監修いただいています。



ポーラがジェンダー平等に関する冊子を一般の方向けに作成するのは創業以来初のことです。冊子は教員の方に授業で活用いただいたり、授業案として参考にしていただけるように作成しています。

小中学校の他、6月から全国のポーラショップにも配布し、ビジネスパートナーのジェンダーについての理解促進や、地域でのワークショップに活用される予定です。

ポーラは『ジェンダー、年齢、地域格差、様々な「壁」の解消』をサステナビリティ方針のゴールのひとつに掲げ今後も、誰もが自分の可能性を信じ、自らの意思で主体的に選択し、いきいきと自分らしくいけることができる社会を目指していきます。

<p>【報道関係からのお問い合わせ先】 株式会社 ポーラ ブランドクリエイティブ部 〒141-8523 品川区西五反田2-2-3 TEL : 03-3494-7119 FAX : 03-3494-6198</p>
<p>【お客さまからのお問い合わせ先】 ポーラお客さま相談室（フリーダイヤル）TEL 0120-117111</p>

【ポーラ ジェンダーに関する2029年 サステナビリティ方針と目標】

社会

ジェンダー、年齢、地域格差、様々な「壁」の解消



- ①地域起業オーナー数：月商500万円以上のショップオーナー※を1,200人まで増やし、組織力が高い組織を拡大する。
- ②地方自治体（NPO・NGO含む）との協業件数：28件。協業から生まれる新しい価値を地域に還元。
- ③地域の中でロールモデルとして認知されるショップオーナーの数：110人。



- ①女性管理職比率：総合職従業員の男女比率と同等にする。
- ②美容職のダイバーシティの推進：ジェンダーのみならず、障害者・グローバル対応を推進する。
- ③育休取得率：男性・女性ともに、100%取得。



事業としての協業の拡大：全国協業実施へ。

※ショップオーナー：全国の地域でポーラショップを経営するオーナー



ポーラは、新体操ナショナル選抜団体チーム・新体操個人日本代表「フェアリー ジャパン POLA」のオフィシャルパートナーです。

POLA

未来を担う10代に知ってほしい。進路・職業選びにも潜む、
「男だから」「女だから」の無意識の思い込み。

ポーラ、「10代のためのジェンダーの授業」冊子、第二弾発行 「おしごと年鑑※」特別付録として、全国の小・中学校約3万校に寄贈

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：及川美紀）は、これからの未来を担う10代に、ジェンダー平等について考え、知ってもらうきっかけとなるように、株式会社 朝日学生新聞社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：高田 圭子）と共に、「10代のためのジェンダーの授業」冊子第二弾を作成し、全国の小・中学校約3万校に6月下旬より順次寄贈いたします。

「10代のためのジェンダーの授業」冊子は、昨年第一弾を作成し、ジェンダー平等教育が求められる教育現場から大きな反響をいただきました。昨年（2022年7月）「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が制度改正され、「男女の賃金の差異」が情報公表の必須項目になるなど、日本のジェンダー平等に関する状況は日々変わっています。第二弾となる今年の冊子は、性別にもとづくアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）の影響についても紹介。これからの未来を担う10代の小・中学生が将来を決める際、「女子は理系より文系」、「これは男 or 女の仕事」「女だから or 男だから難しい」といった、無意識の思い込みに左右されず、誰もが能力と個性を發揮できる社会をつくるための気づきとなるような、データによる現状の解説や、新聞の投稿文を題材にしたワークシートも作成いたしました。



※「おしごと年鑑」：朝日学生新聞社のキャリア教育支援プロジェクト「おしごととはくぶつかん」が発行している教材
「おしごととはくぶつかん」 <https://oshihaku.jp/about-media/>

【報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社 ポーラ ブランドコミュニケーション部 〒141-8523 品川区西五反田2-2-3
TEL：03-3494-7119 FAX：03-3494-6198 e-mail：pola_pr@pola.co.jp

【メディアに掲載いただくお問い合わせ先】

ポーラお客さま相談室（フリーダイヤル）TEL 0120-117111



ポーラは、新体操ナショナル選抜団体チーム・新体操個人日本代表「フェアリー ジャパン POLA」のオフィシャルパートナーです。

What is gender? ジェンダーって何？

なぜ、ジェンダー平等について考える必要があるのか。最新のデータと解説、チェックシートを用いて、10代の小・中学生に、興味関心を持ってもらい、自分事化してもらえるような内容に。

What is gender? ジェンダーって何？

「無意識の思い込み」を知ろう

0.1 職業ポスター

0.2 運動会を終えて、先生から一言

0.3 最後のコマは……?

教育現場での活用事例

昨年、「10代のためのジェンダーの授業」冊子を、「おしごと年鑑2022」に同梱し、全国の小・中学校約3万校に寄贈したところ、多くの学校から「もっと活用したいから追加で送ってほしい。」という声がよせられ、要望のあった学校に追加寄贈しました。今回の第二弾冊子には、追加希望先の一つ、松戸市立和名ヶ谷中学校の授業レポートも掲載。「すべての生徒、先生と理解を深めたい」と、性の多様性についても話を広げながら、全クラスに授業を展開していただきました。

ジェンダー平等への深まる理解

授業実施校：千葉県松戸市立和名ヶ谷中学校

2022年秋に、全校で「10代のためのジェンダーの授業」(第1弾、2022年発行、右参照)を使った授業をしました。オンライン会議システムを使ってクラスを結び、ジェンダーの詳しい意味やジェンダー平等の大切さを最初に学んだ後、各クラスで職業の男女比クイズを通して、男女格差を知り、ジェンダー平等について考えました。話は、LGBTQ*のことまで広がりました。
*性的少数者のこと

生徒の皆さんからの声

今日の授業で、「私には関係ない」という考えがなくなった。

今思うと身近なところにジェンダー・バイアスがあった。

職業によって男女比に違いがあり、その差も大きいことに驚いた。

授業レポート(左のコラム)の詳細記事はこちら

『10代のためのジェンダーの授業』第1弾(8P)のPDFはこちら

監修：ジェンダー専門家 齋藤万里子様

「10代のためのジェンダーの授業」冊子は、特定非営利活動法人Gender Action Platform理事で、元国連職員、現在はフリーの専門家として国際機関やNPOなどで活躍されている齋藤万里子さんに、「誰もが能力と個性を發揮できる社会をつくるために」という想いのもと、監修いただきました。

